

刈谷市歴史博物館基本運営方針

1 理念

- (1) 歴史博物館は、博物館法に基づいた施設として、博物館の設置及び運営上の望ましい基準を踏まえ、市民の共有財産である刈谷の歴史資料の保存・継承、調査・研究、活用を通じて、市民（利用者）にとって、刈谷の歴史に親しみ、学べる拠点とします。
- (2) 児童・生徒の歴史体験の拠点として、また、市民の生涯学習活動の場とします。
- (3) 歴史博物館における歴史体験を通じて、市民一人一人の中に、本市に対する誇りと愛着が育まれることをめざします。
- (4) 研究者や観光客の利用も視野に入れた活動を行い、刈谷の歴史に関する調査・研究の進展や、本市への親しみやイメージアップの促進に寄与します。

2 方針

(1) 歴史資料の保存と継承

- ア 歴史博物館は、歴史資料が市民の共有財産であると認識し、保存継承に努めます。
- イ 歴史資料の保存・継承活動を通じて、その必要性に対する市民の理解浸透を図ります。

(2) 歴史資料の調査・収集・研究

地域にある歴史資料のほか、全国に散在する刈谷に関係する資料を調査・収集し、研究を進める中心的な役割を果たします。

(3) 刈谷らしさを生かした展示

- ア 旧石器時代から現代までに培われてきた先人の知恵や工夫による暮らしと社会のしくみを学ぶ場として、歴史的背景をふまえ、刈谷らしさを生かしたテーマを設けて展示します。
- イ 刈谷の祭りなど地域の伝統や無形民俗文化財を体感して楽しみながら学べる展示を行います。

ウ 企画展のテーマとして、刈谷の魅力に焦点を当てた企画展、タイムリーなテーマによる企画展などを実施するとともに、国指定などをはじめとする一級の文化財を提供し、刈谷の歴史を広く発信します。

(4) 伝統文化の保存と継承

市民(利用者)に対し、祭りなどの伝統文化を体験するための機会を提供し、貴重な無形民俗文化財を未来に伝え残します。

(5) 市民・ボランティア参加

ア 祭保存会や施設ボランティアをはじめ、市民参加による歴史博物館の活動を積極的に進めます。

イ 市民が自分たちの住む地域の歴史を大切にし、体験講座・歴史案内などを通して学んでいけるよう貢献します。

(6) 児童・生徒の歴史体験

ア 児童・生徒が歴史博物館で本物の歴史資料に触れ、様々な歴史体験をすることにより、学校教育の場で提供される学びとは異なる新たな学びの場を創出します。

イ 学校教育との密接な連携を図り、歴史博物館における体験が有効に働くよう配慮します。

3 事業及び活動計画

(1) 利用者にとって、刈谷の歴史に親しめる場所となるよう、体験性を重視します。

ア 展示における体験性はもとより、各種講座などを活発に行い、利用者自らの五感で触れられる体験を重視します。

イ 刈谷の未来を担う児童・生徒にとっては、学校における歴史の授業を補完できる内容を整備します。

(2) 貴重な歴史資料を次世代に引き継ぐため、事業・活動の継続性を重視します。

ア 歴史博物館が所蔵し活用する歴史資料は、市民共有の財産であり、未来の刈谷市民に引き継ぐべきものです。

イ 市民一人一人が地域の歴史を知ることの大切さや、資料保存の意義について

理解を深めることが求められます。

ウ 歴史博物館の事業・活動における継続性を重視し、将来的に登録博物館及び公開承認施設になることを目指します。

(3) 市民参加による事業・活動を進めます。

ア 市内で活躍するボランティア団体との協力のもと、歴史博物館の事業・活動を進めます。

イ 生涯学習を促す側面からも、市民の能力・知識を生かすことのできる場を提供し、自己実現の機会とします。

4 施設機能と活動内容

歴史博物館は、ミュージアム機能・祭り伝承機能・アーカイブズ機能・埋蔵文化財保存活用機能・共通機能を有すものとし、一体的に取り組みます。

歴史博物館では、5つの機能と6つの活動(調査・研究活動、収集・保存活動、展示活動、学習・体験活動、情報発信活動、利用者サービス活動)を複合させることにより、刈谷の歴史資料の保存・活用をより有効なものとしていきます。

(1) ミュージアム機能

ア 刈谷市全域の歴史を対象に、実物を中心とした各種資料の調査・研究、収集・保存、展示公開を行い、歴史博物館の中核機能を担います。

イ 歴史における刈谷ならではの魅力を掘り下げ、刈谷の未来を担う児童・生徒をはじめ、市民一人一人が、それらを実感し、郷土への誇り、愛着を育む役割を重視します。

〈調査・研究活動〉

- ① 調査・研究にあたっては、学芸員が独自に行うほか、研究者・郷土史家・市民の参画を得て、実施します。
- ② 刈谷の城下町を中心に、刈谷市全域を対象に、旧石器時代から現代までを調査研究の範囲とします。
- ③ 全国に散在する刈谷に関する歴史資料を中心に、アーカイブズ機能、埋蔵文化財保存活用機能と連携を図りつつ、効率的な調査・研究活動を展開し、それらの成果の有効活用に努めます。

- ④ 調査・研究の柱には、展示の基本テーマである「刈谷の縄文時代」「刈谷藩と城下町」「刈谷発の近代化」を据え、家康の生母である於大や水野勝成、初の自動織機を完成させた豊田佐吉・喜一郎親子などに着目し、戦国期から近世、近代にかけての刈谷の特色を明らかにしていきます。
- ⑤ 郷土資料館のこれまでの成果を継承し、連携を図り、より活発な活動を推進します。
- ⑥ 昭和30年代の庶民生活、民俗資料の保存・活用は郷土資料館が分担し、歴史博物館との役割を明確にします。

〈収集・保存活動〉

- ① 主に実物を中心とした歴史資料の収集・保存を担い、市民などの所蔵者の協力を得て進めます。
- ② 市内にある歴史資料、全国に散在する刈谷に関係する歴史資料を対象とした調査の実施とともに、積極的に収集を図ります。入手ができない場合、または無形民俗文化財などは、写真・映像・音響、複製などにより、収集に努めます。
- ③ 収集する各種資料は、必要に応じた保存処置・修復を行い、それぞれの素材に適した保存方法で保管し、展示公開での活用や、各種研究に寄与する財産として、次世代に継承します。
- ④ 収集に際しては、資料名をはじめ、資料の内容、状態に関するデータ(画像・映像を含む)とともに記録し、保存します。作成した資料情報をもとに、データベースを構築し、多様な利活用に対し、効率的な対応ができるようにします。
- ⑤ 古文書など、文書資料についてはアーカイブズ機能と、発掘される遺物などについては埋蔵文化財保存活用機能と連携・分担を図りながら、効率的な収集・保存活動を行います。

〈展示活動〉

- ① 刈谷らしさを表現する3つの基本テーマ「刈谷の縄文時代」「刈谷藩と城下町」「刈谷発の近代化」を中心とした「常設展示」と、開催期間を区切り「常設展示」とは異なる視点から刈谷の歴史に焦点を当てた「企画展示」を行います。
- ② 常設展示では、3つの基本テーマに関して、郷土の歴史に親しみと誇りが感じられる展示の実現に努めます。

- ③ 企画展示では、常設展示のテーマや、刈谷に関する様々な事項をテーマとして、より深く掘り下げた内容の特別展示を年2回程度行うものとします。
- ④ 企画展示の間には、収蔵品を中心としたテーマ展示や、市民所蔵の資料等を活用した企画展などを年2回程度実施し、リピーターの確保と新規来館者の開拓に努めます。

(具体的事業案)

- ・刈谷藩歴代藩主・刈谷の縄文時代・幕末の刈谷など、刈谷ならではの歴史と文化の魅力を示す資料を、小規模企画展において定期的に公開していくとともに、資料調査によって得られた新収集資料のタイムリーな公開に努めます。
- ・展示の内容や刈谷の歴史に関する理解をより深めるための解説シートを作成します。
- ・児童・生徒用の解説シートの作成や児童・生徒向けギャラリートークの実施など、児童・生徒にも展示内容に対する理解を深める様々な解説方法に努めます。
- ・企画展では、展示内容への理解を深めるため、講演・講座・体験活動等を実施し、幅広い年代層の来館を目指します。

(2) 祭り伝承機能

- ア 刈谷の地で行われてきた祭りなど、地域の伝統芸能や無形民俗文化財を対象に調査・研究を進め、継承されてきた祭り道具、写真・映像記録などの保存・継承、展示公開を行い、刈谷の祭りの魅力をアピールします。
- イ 体感性を重視し、万燈担ぎ体験を実施し、来館者が五感を通して楽しみ、祭りへの期待感を抱ける施設づくりに努めます。

〈調査・研究活動〉

- ① 調査・研究にあたっては、ミュージアム機能と同様に、学芸員が独自に行うほか、研究者、郷土史家、市民の参画を得て実施します。
- ② 刈谷を代表する祭りである万燈祭、大名行列（奴のねり・山車）、野田雨乞笠おどりを中心に、刈谷の伝統芸能、無形民俗文化財の調査・研究活動を展開し、それらの成果の活用に努めます。
- ③ 刈谷を代表する祭りについては、その起源から歴史、様式などを、民俗学的見地から調査・研究を進め、刈谷に継承されてきた祭りの意義や魅力を明らかにし

ていきます。

〈収集・保存活動〉

- ① 万燈祭、大名行列（奴のねり・山車）、野田雨乞笠おどりを中心に、祭り関係資料の収集・保存を担い、祭り主催者、保存会など、所蔵先の協力を得て進めます。
- ② これまで撮影されてきた写真・映像記録については、幅広く市民に呼びかけて収集・保存を図り、今後開催される祭りについては、計画的に写真・映像記録化を進めるなど、展示活動に活かしていきます。
- ③ 刈谷の祭りについて書かれた図書・文献資料などを、アーカイブズ機能と連携しながら、効率的に収集・保管します。

〈展示活動〉

- ① 刈谷を代表する祭りである万燈祭、大名行列（奴のねり・山車）、野田雨乞笠おどりを、実際に使用されている道具に加え、ドキュメント映像を交え、臨場感ある展示を行います。
- ② 万燈祭については、万燈製作の過程を紹介し、祭りを支える技術や意気込みを間近に見せることで、祭りへの期待感を盛り上げます。
- ③ 祭り体験スペースを設け、万燈を担ぐなど、来館者が五感を通して祭りを楽しめる展示活動を行います。

(3) アーカイブズ機能

ア 刈谷に関する古文書の散逸を防ぎ、積極的に調査・研究、収集・保存を進め、適宜、展示公開を行う文書館的機能を担います。

イ 文書資料の面からミュージアム機能や祭り伝承機能の展示活動を支援するなど、連携を図りながら、効率的で、相乗効果のある活動をめざします。

〈調査・研究活動〉

- ① アーカイブズ機能では、ミュージアム機能と連携・分担しながら、刈谷に関する古文書など、文書資料の調査・研究活動を展開し、それらの成果の活用に努めます。
- ② ミュージアム機能や祭り伝承機能と同様に、学芸員の独自の調査・研究のほか、研究者、郷土史家、市民の参画を得て、調査・研究を実施します。

- ③ これまでの調査・研究活動を継承しながら、新たなアーカイブズ機能独自の調査・研究テーマを設け、文書資料から刈谷らしさを明らかにしていきます。
- ④ 調査・研究にあたっては、特にミュージアム機能と同様「刈谷藩と城下町」「刈谷発の近代化」に関して力を注ぎ、戦国期から近世、近代にかけての刈谷を特徴づける藩政史、城下町、近代産業史を柱とします。

〈収集・保存活動〉

- ① アーカイブズ機能では、古文書など、文書資料の収集・保存を担い、市民などの所蔵者の協力を得て進めます。
- ② 市内にある歴史資料、全国に散在する刈谷に関する歴史資料を対象とした調査の実施とともに、積極的に収集を図ります。
- ③ 実物が入手できない場合は画像や複製など、資料ごとに適した媒体による収集に努めます。
- ④ 収集した資料は、検索や画像の閲覧ができるように、データベースを構築し、利用しやすい形で整理します。
- ⑤ 古文書のほか、刈谷に関するものを中心に、歴史関係図書も収集・保管し、閲覧できるようにします。

(4)埋蔵文化財保存活用機能

ア 市内に散在する遺跡を対象とした発掘調査・研究、遺構の情報や各種遺物の収集・保存、展示公開、普及・啓発を行い、刈谷の貴重な文化財の研究拠点となります。

イ 遺構や遺物から解き明かされた先人たちの暮らしを題材に、当時のモノづくりなどの体験講座を実施し、来館者が楽しく埋蔵文化財に親しめるようにします。

〈調査・研究活動〉

- ① 市内の遺跡を対象に、発掘調査・研究活動を展開し、先人たちの生活に迫り、蓄積された成果の活用に努めます。
- ② 特に、ミュージアム機能における展示の基本テーマの一つ「刈谷の縄文時代」については、これまでの調査・研究をさらに進め、解き明かされた縄文人の暮らしぶりを、より体感的に分かりやすい形で展示に活用します。

- ③ 最新の発掘調査や研究の進展とともに、それらの成果を企画展示で公開していきます。

〈収集・保存活動〉

- ① 埋蔵文化財保存活用機能では、遺跡から発掘された遺物の収集・保存を担い、学芸員をはじめ、多くの協力を得て進めます。
- ② 収集された遺物は、洗浄をはじめ、必要に応じた保存処置、復元などを行い、それぞれの素材に適した保存方法で保管し、展示公開での活用や、歴史研究に寄与する財産として、次世代に継承します。
- ③ 遺物の実測をはじめ、資料の状態に関するデータとともに記録し、保存します。

(5) 共通機能

共通機能は、歴史博物館全体で取り組むべき機能で、各機能の活動を統合し、連携を図りながら、学習・体験、情報発信、利用者サービスの環境を整え、これらの活動を効率的に実施します。

〈学習・体験活動〉

- ① 市民の生涯学習の拠点として、子どもから大人まで、さまざまな知的欲求に応えるため、館内外で多彩な学習・体験機会を提供します。

(具体的事業案)

歴史に関わる簡単工作

甲冑着用体験

1日学芸員体験

- ② ミュージウム機能をはじめ、各機能が力を注ぐテーマをもとに、各種歴史講座・講演会、体験講座、イベントを開催し、地域への興味を喚起するとともに、郷土の価値の再発見を促します。

(具体的事業案)

学芸員による歴史講座

企画展展示説明会

- ③ 「常設展示」と「祭り展示」のテーマと連動した体験展示を実施し、五感で歴史や祭りに触れられるようにします。
- ④ 埋蔵文化財保存活用機能では、遺跡現場の見学会をはじめ、土器作りや遺物整

理の体験講座など、実践的に考古学に親しむ活動を展開します。

(具体的事業案)

勾玉づくり

土偶づくり

縄文編布の再現

- ⑤ 古文書を読み解く講座をはじめ、古文書から分かる歴史講座などを実施し、古文書に親しむ活動を展開します。

(具体的事業案)

歴史講座

古文書解読講座

夏休みの歴史相談

- ⑥ 体験学習の補助など、各種活動を支える施設ボランティアの育成に努め、市民の参画を得ながら、親しみやすい活動を展開します。
- ⑦ 歴史博物館が、学校教育における郷土の歴史学習の場として、より有効活用されるため、本物の歴史資料を活かしたワークシートの充実をはじめ、小中学生向けに、体験性の高い学習プログラムを整備します。
- ⑧ ガイドツアーや出前講座などを実施し、館外においても刈谷や博物館の魅力を広めます。

(具体的事業案)

郷土資料館等歴史博物館周辺施設と連携した歴史探訪ツアー

出前講座等への講師派遣

〈情報発信活動〉

- ① 各機能により収集された、刈谷に関する多様な情報を、市民の貴重な財産として集約し、学習、研究、展示など、さまざまな形で活用を図るとともに、刈谷らしさを伝える情報発信拠点とします。
- ② 刈谷ゆかりの人物紹介アニメ『刈谷偉人伝』など、刈谷を知るための映像なども閲覧できるようにします。
- ③ エントランスでは、市内の歴史・観光情報を提供し、来館者を町の散策へ誘う情報サービスを行います。

〈利用者サービス活動〉

- ① 来館者が利用しやすく、快適に過ごせるように、施設環境を整えるとともに、職員やボランティアによる対応、サービスの充実に努め、親しみのもてる施設とします。
- ② 歴史博物館が発行する書籍や来館記念となるミュージアムグッズの販売などを行い、市民の学習意欲に応えるとともに、来館記念の持ち帰り等のニーズに応えます。

5 児童・生徒に対する学習支援の推進

児童・生徒を、刈谷の歴史と文化の魅力を未来へ引き継ぐ担い手として育てていくため、各年代層に応じた、学習に関する支援を積極的に進めます。

(具体的事業案)

児童・生徒向け常設展示解説シート、ワークシートの作成

小中学校への社会科歴史分野に対応した出前講座

親子で学ぶ体験型歴史講座

1日学芸員体験

郷土の歴史学習支援

子どもたちでもわかりやすい学習・体験機会の充実